

事務事業評価表 平成22年度

政策 安心を感じる保健・医療・福祉の充実
 施策 障がい者福祉の充実
 基本事業 療育指導の充実

事業名 **おもちゃ図書館運営費補助金**

[0194]

部名	健康福祉部	事業開始年度	昭和63年度	実施計画事業認定	非対象
課名	福祉課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) おもちゃ図書館を運営する団体
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 「おもちゃ図書館活動」を円滑に継続させて、障がい児の療育を支援する。
	(事務事業の内容、やり方、手段) 「おもちゃ図書館」の運営に必要な費用を補助する。(江別女性団体協議会) (おもちゃ購入費、行事費、会議費、通信費、交通費、消耗品費、負担金)
	手段

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	おもちゃ図書館を運営する団体数	団体	1	1	1	1
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	360	360	360	360
活動指標2						
成果指標1	利用者数(年間)	人	378	299	365	250
成果指標2	おもちゃの貸出点数(年間)	点	352	85	218	150
単位コスト指標						
事業費計(A)		千円	360	360	360	360
正職員人件費(B)		千円	419	418	415	416
総事業費(A) + (B)		千円	779	778	775	776

費用内訳	
21年度	負担金 補助及び交付金 360千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	おもちゃ図書館は、ボランティア活動として運営され、おもちゃ貸出及び各種行事の開催等により障がい児の機能回復とともに、障がい児 親とボランティアとの交流の場としての機能を果たしているが、地域療育の中核機関として15年度に「子ども発達支援センター」が設置されたことから、当センター事業との連携、整合性を図る必要がある。
--------	--	-------------	---

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
 妥当である
 妥当性が低い

理由・
 根拠は？

おもちゃ図書館はボランティア活動により運営されているが、障害児の機能回復のほか、障害児 親とボランティアとの交流など、地域福祉的な役割を果たしていることから、その円滑な運営のために市が補助することは、妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
 貢献度ふつう
 貢献度小さい
 基礎的事務事業

理由・
 根拠は？

上記(1)のとおり 障がい児福祉の面で、貢献度はある。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている
 どちらかといえばあがっている
 あがらない

理由・
 根拠は？

おもちゃの利用や貸出の要望に概ね対応できており、また、各種の行事開催も年5回程度は行われるなど、障がい児の機能回復やその親の子育支援の成果はある。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
 成果向上余地 中
 成果向上余地 小・なし

理由・
 根拠は？

上記(3)により 成果向上余地はある。

(5)現状の成果を落とさずにコスト(予算+所要時間)を削減する新たな方法はありませんか？(受益者負担含む)

ある
 ない

理由・
 根拠は？

補助は、おもちゃの更新、会議費、行事費等の運営基盤経費がその中心となっており、更なる削減は難しいが、子ども発達支援センターの事業と連携することなどにより、成果向上、コスト削減も考えられる。